

武漢事務所週刊ニュース（2013年4月1日～7日）

武漢－クアラルンプール間 の直行便が昨日開通

4月5日 長江日報

昨日 13 時 50 分に、たくさんの乗客を乗せたマレーシアエアアジア X の大型ジェット旅客機 A330 が武漢天河空港に到着した。これは中国の中部とクアラルンプールを結ぶ最初の定期直行便となった。

武漢－クアラルンプール線は湖北省新航線国際旅行社による観光目的のチャーター便で、4 月から毎週 1 便（木曜日）、5 月に入ると、毎週 2 便（木曜日、日曜日）に増え、中国の中部とマレーシアを結ぶ初の定期直行便となった。「今まで武漢市民はマレーシアに行くたび、広州や香港で乗り継ぎをしなければならなかったが、直行便が開通したら、片道の所要時間は 4 時間半になり、往復の所要時間は以前の乗り継ぎ便より 2、3 時間も短縮することができる」と湖北省新航線国際旅行社の謝宏取締役が話した。

15 時 25 分に、武漢や黄石、襄陽、長沙、鄭州から 377 名の乗客を乗せた飛行機はクアラルンプールに向かって飛び立った。